

事業所名

おとのは (児童発達支援)

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

8 月

1 日

法人 (事業所) 理念	生活のしづかさを感じているお子さんご家族が安心して暮らし続けることができるように、学校・福祉・医療・地域社会をつないでいきます。												
支援方針	1. 私たち「おとのは」では、子どもたちを「一人の人格者として尊重」し、「子どもたちの気持ちを真ん中」で受け止めて一緒に歩んでいきます。 2. 子どもたちが何か困ったときは、大人も子どもと一緒に、話し合っ解決していきます。 3. 子どもたちと一緒に遊びを通して、「心豊かに安心して暮らせる」ように「地域社会と接点」をもちながら「伴走支援」をしていきます。												
営業日	月曜日～金曜日 (祝祭日含む) 但し12月29日～1月3日を除く					送迎実施の有無	あり なし	日中一時支援	あり なし				
営業時間	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	早朝サービス提供時間	8 時00分から 9 時00分まで	延長サービス提供時間	17 時00分から 18 時30分まで			
平日のサービス提供時間	9 時	00 分	から	17 時	00 分	まで	休日のサービス提供時間 (放課後デイの長期休みと運動)	10 時	00 分	から	16 時	00 分	まで
	主な遊び	遊びと5領域の関係											
本人支援 5領域とは (将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを大きな目標として支援させていただく以下の5つの領域) ① 健康・生活 ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	屋内での遊び	② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	音楽、お絵かきや工作、指先遊び、カードゲーム、サーキットなど集中力アップ ・子ども一人ひとりの関心ことから取り組みをはじめ、「できたことの喜び」を表現することができ、お友達にも伝え合えることができるように伴走支援をしていきます。										
	屋外での遊び	② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	近所のお寺の境内や公園遊び、砂遊びなど体を動かしてストレス発散、お互いを思いやる気持ちを醸成 ・お友達との遊びの中で、「相手の気持ちを思いやる力」(順番待ちや譲り合い、困っている子がいたら、どうしたの?と声をかけられるように)を育み、気持ちが通いえるように伴走支援をしていきます。										
	お手伝い遊び	① 健康・生活 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	ご飯・おやつ作り、ご飯の支度、園芸、掃除などお家でもできる暮らしのお手伝いを通して、お互いを思いやる気持ちを醸成 ・子ども一人ひとりの関心ことから取り組みをはじめ、できたことの喜びや人のためにできた喜びを感じ「自己肯定感」が高まるように伴走支援をしていきます。										
	外出体験活動	① 健康・生活 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	公民館、児童館、公共施設の利用など社会性を育む体験 ・外出時の必要な持ち物を用意することや公共交通機関の乗り方のマナーの習得、地域の方々とのふれあいを通して社会との接点を広げていく機会を提供し、地域社会の一員として活躍できるように伴走支援をしていきます。										
	季節行事やイベント他	① 健康・生活 ② 運動・感覚 ③ 認知・行動 ④ 言語・コミュニケーション ⑤ 人間関係・社会性	おまつり、お花見、子どもの日、敬老の日、スポーツの日、お正月、どんど焼きなど季節行事やイベントに参加する機会を提案 ・季節行事やイベントを通じて季節感や伝統文化等に触れ、みんなと一緒に過ごす時間の楽しみ方や、保護者の皆さんとの交流会などを通して、郷土愛の醸成や相手を認め合える関係が築けるように伴走支援をしていきます。										
家族支援	・日々の子どもの支援記録や送迎時等のやり取り等を通して、各家庭での悩みや不安 (兄弟支援も含め) を受け止め、情報提供や緩和や解決に向けて相談支援を行います。 ・祝祭日の営業日や季節行事の際には、家族も参加できる行事を予定し、家族交流の場などを通じて気軽に話せる仲間づくりの機会を提案していきます。					移行支援	・子ども一人ひとりの成長過程において、児童館や図書館等の公共施設、地域行事、就労先の見学、保育所との併用できる機会を提案し、地域の中で保育や教育が受けられるように関係機関と連携しながら、移行後も含めて、伴走支援を行います。						
地域支援・地域連携	・地域行事の参加やボランティア (大学生や地域住民等) の受け入れを積極的にい地域に開かれた施設として、地域住民とふれあう機会を提案していきます。 ・一人ひとりの児童とその家族にとって、最善の利益が得られるように医療・福祉・教育関係者等と連携を図りながら、より良い支援チームを築いて支援していきます。					職員の質の向上	・施設内研修、施設外研修に参加し、スキルアップを図る。 (感染症対策、災害対策、防災訓練、身体拘束・虐待防止、権利擁護・意思決定支援、障害の理解等) ・個別のケースに応じて担当者会議等を適宜開催し、支援方針を見直し修正して行く。 (PDCAサイクル)						
主な行事等	・祝祭日の家族交流行事の開催 ・季節行事の開催や地域行事に参加 (百歳体操、スポーツレクリエーション大会、音楽療法、花植え活動、地域活動支援センター I 型デイケア交流など) ・調理体験、買い物体験、園芸体験、パラスポーツ体験、外出体験など適宜開催												